

## 二宮町総合戦略評価について（意見）

「第3期二宮町総合戦略」に係る施策の進捗について、町の内部評価を踏まえ、二宮町政策評価委員会として評価を行いました。

戦略に位置付ける10本の施策について、取り組み状況の実績から概ね順調である施策として、環境問題の認知度などにおいて一部課題は見受けられるものの、1-3の環境保全や1-4デジタル化による行政サービスの向上、2-1の魅力の創出と発信については評価できます。一方で、特に、3-1、3-2の子育て支援施策などにおいては、子育てをしやすい環境をつくるためのアイデアや、現行の一時預かり事業や保育事業の在り方、利用方法の改善を望む意見があり、多くの議論につながりました。また、新規利用団体が少ない東京大学果樹園跡地の管理体制や、今後の人口減少社会等を見据えた地域コミュニティの時代に合った見直し、KPIの設定に対する課題などについても議論がありました。本委員会の意見を第3期二宮町総合戦略の推進や、計画改定の参考に役立てていただければと思います。

各委員からの様々な意見をもとに議論した中で、総論として主に4点について、意見を述べさせていただきます。

1点目は、子育てがしやすいまちづくりの推進についてです。子育てをするにあたっては、未就学の子ども同士が触れ合う機会や、その子どもたちの保護者が情報交換のできる場所の存在が重要です。そのためにも、近くに住んでいる子育て世帯が知り合うきっかけになるよう、地域集会施設を活用し、出張子育てサロンのような形式で、地区の子どもや保護者が集まり触れ合うことのできる場の設定を検討してください。また、ファミリーサポート事業や一時預かり事業にあっては、利用時の負担を軽減できるよう、手続きの統一化や定期的に子育て世帯のニーズを聞くことで、随時運営の改善につなげることができる体制の構築に努めてください。

2点目は、東京大学果樹園跡地における管理体制の見直しについてです。ここ数年で利用者も増加し盛り上がりを見せている一方、参入のしづらさがあるのか新規団体の利用が少ないため、受入れにも柔軟な対応が可能となるよう、跡地を管理する協議会が町と共通の目標を持って運営にあたるとともに、利用について積極的にPRできるよう努めてください。

3点目は、地域社会の基盤である地域コミュニティについてです。防災や防犯の面でも非常に重要な役割を担っている地域コミュニティですが、高齢化や町内会への加

入者の減少による地区役員のなり手不足が深刻化する中、人材の確保やコミュニティ存続のためにはこれまでの既成概念にとらわれることなく組織や事業の見直しに取り組む必要があります。また、町内会に加入していない方にも最低限の情報が届くような仕組みを検討することで、町内のコミュニティに触れ合うきっかけを生み出し、町内会などに加入しやすい環境づくりに繋げるよう研究を進めてください。

4点目は、各施策における KPI についてです。現在、各施策に設定している KPI だけでは、戦略に位置付けている施策を測る指標として評価に繋げることが難しいため、個別の施策評価であった意見を参考としながら、アウトカム指標を意識して追加するなど、進捗状況が適切に判断できる内容としてください。

最後に、本委員会の議論が、PDCA サイクルにおけるチェック機能として今後の総合戦略において有効に活用されるとともに、時代の潮流に柔軟に対応した持続可能なまちづくりの推進を期待します。